平成２7年７月 29 日
相模原市発表資料

平成２７年上半期(１月～６月)における市内の火災及び救急の概要について

この度、平成２７年度上半期(１月～６月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、別紙のとおりお知らせします。

○　火災の概要について
　　別紙１のとおり

○　救急の概要について
　　別紙２のとおり

問い合わせ先
消防局　予防課（火災関係）
751-9117
救急課（救急関係）
751-9142

別紙１

平成２７年上半期（１月～６月）における市内の火災の概要

平成２７年上半期（１月～６月）に市内で７９件の火災が発生しました。火災による死者は４人で、負傷者は１３人です。

１　出火件数は、前年に比べ５３件の減少

出火件数は７９件で、前年に比べると５３件減少しました。

火災種別ごとに見ると、前年に比べ、全ての火災種別で減少しており、建物火災は４９件で２１件減、林野火災は２件で４件減、車両火災は５件で２件減、その他の火災は２３件で２６件減となっています。

火災件数が大きく減少した理由は、２６年度は放火が出火原因として考えられる火災が連続して発生しましたが、２７年度は同様の火災が発生していないこと、また、住宅用火災警報器の普及に伴い、早期発見により火災に至らずに済んでいることも火災の件数の減少につながった要因の一つと考えられます。

２　出火原因の第１位は「放火（疑い含む)」と「たばこ」

全火災７９件を出火原因別に見ると、「放火（疑い含む)」と「たばこ」がともに１３件（１６．５％）で1位、続いて「こんろ」7件（８．８％)、「たき火」５件（６．３％)、「火遊び」４件（５．１％）の順となっています。

３　火災による死者は４人、前年に比べ２人の増加

火災による死者は４人で、前年に比べると２人増加しました。

火災種別ごとに見ると、いずれも建物火災によるものであり、逃げ遅れにより３人が亡くなりました。また、死者４人のうち３人が、６５歳以上の高齢者です。

負傷者は、１３人で前年に比べると７人減少しました。

４　前年に比べ建物焼損棟数及び焼損面積は減少、損害額は増加

焼損棟数は７１棟で、前年に比べると２４棟減少しました。

焼損面積は８７４㎡で前年に比べると６３１㎡減少しました。

損害額は６，５３４万円で前年に比べると１，０９２万円増加しました。

◆　火災の出火原因のトップが「放火（疑い含む）」

本市の火災の発生原因として「放火（疑い含む）」が第１位になっています。

放火による火災を防止するには、整理整頓と監視が大切です。下記のチェックポイントに沿って一度身の回りを点検してください。

☆☆☆放火防止のための安全チェック☆☆☆

・　□　家の周りに燃えやすいものを置かない、また、枯れ草は刈り取っておく。
・　□　ごみは、決められた日時に出す。
・　□　センサー付きライトなどを設置し、夜間も家の周りを明るくしておく。
・　□　物置や車庫にはカギをかける。
・　□　車やオートバイのカバーには、防炎製品を使用する。

◆　たばこによる火災を防ぎましょう

「たばこ」も「放火（疑い含む）」と同じく発生原因の第１位となっており、多くは、喫煙者の火気管理不足や不注意等により発生していると言えます。喫煙している方は、「たばこ」による火災を防止するため、次のことに留意してください。

○　たばこの投げ捨てをしない。
○　寝たばこは絶対にしない。
○　火のついたたばこを放置しない。
○　歩行中は喫煙しない。

◆　火の側を離れない

住宅火災の原因で「こんろ」によるものが７件発生しました。中でも天ぷら油による火災は、天ぷら油の危険性が広く知られているにもかかわらず、後を絶たず、本市出火原因でも毎年上位を占めています。

こんろを使用しているときは、「少しだけなら」と火の側を離れるのは絶対にやめてください。どんな場合でも火を止めるまでは、目を離さないようにしてください。

◆　「住宅用火災警報器」を設置していますか？

住宅用火災警報器の警報により「火災に至らなかった」、「被害が軽減できた」という事例が数多く報告されています。

まだ住宅用火災警報器を設置していない方は、早急に設置をお願いします。

また、既に設置済みの方につきましては、取扱説明書に従い、定期的なお手入れをお願いします。

資料

火災概要(上半期)

項目			平成27年	平成26年	増減
合計 (件数)			79	132	△53
火災種別	建物	件数	49	70	△21
		面積(㎡)	874	1,505	△631
	林野	件数	2	6	△4
		面積(a)	9	18	△9
	車両		5	7	△2
	船舶		0	0	0
	航空機		0	0	0
	その他	件数	23	49	△26
		面積(a)	5	8	△3
原因別	失火(構成比)		58 (73.4)	84 (63.6)	△26
	放火(疑い含む)(構成比)		13 (16.5)	39 (29.6)	△26
	不明(構成比)		8 (10.1)	9 (6.8)	△1
焼損棟数			71	95	△24
り災世帯			56	62	△6
り災人員			126	140	△14
死者			4	2	2
負傷者			13	20	△7
損害額 (千円)			65,340	54,420	10,920

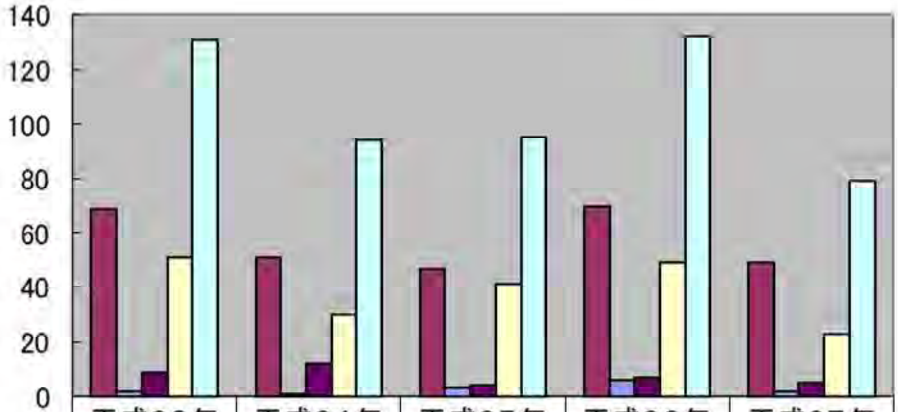
＊小数点第２位を四捨五入

出火原因

平成27年 79件			平成26年 132件		
順位	出火原因	件数	順位	出火原因	件数
1	放火(疑い含む)	13（16.5%）	1	放火(疑い含む)	39（29.5%）
1	たばこ	13（16.5%）	2	たばこ	22（16.7%）
3	こんろ	7（8.8%）	3	こんろ	14（10.6%）
4	たき火	5（6.3%）	4	たき火	10（7.6%）
5	火遊び	4（5.1%）	5	電灯等の配線	6（4.5%）
その他		37（46.8%）	その他		41（31.1%）

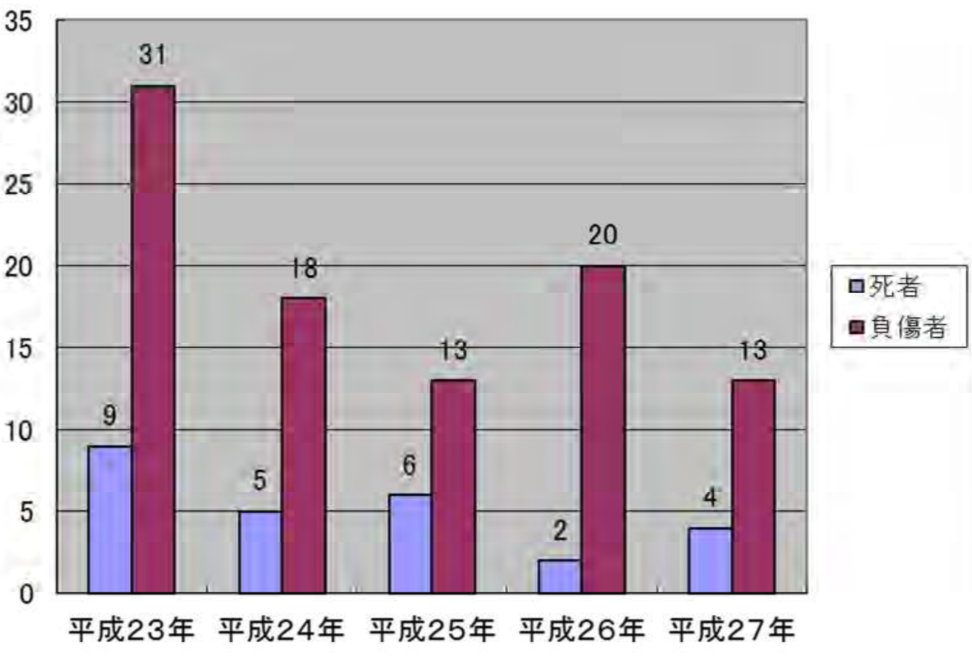
＊小数点第２位を四捨五入

過去5年上半期火災件数



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
建物	69	51	47	70	49
林野	2	1	3	6	2
車両	9	12	4	7	5
その他	51	30	41	49	23
合計	131	94	95	132	79

過去5年火災に伴う死傷者数



別紙２

平成２７年上半期（１月～６月）における市内の救急の概要

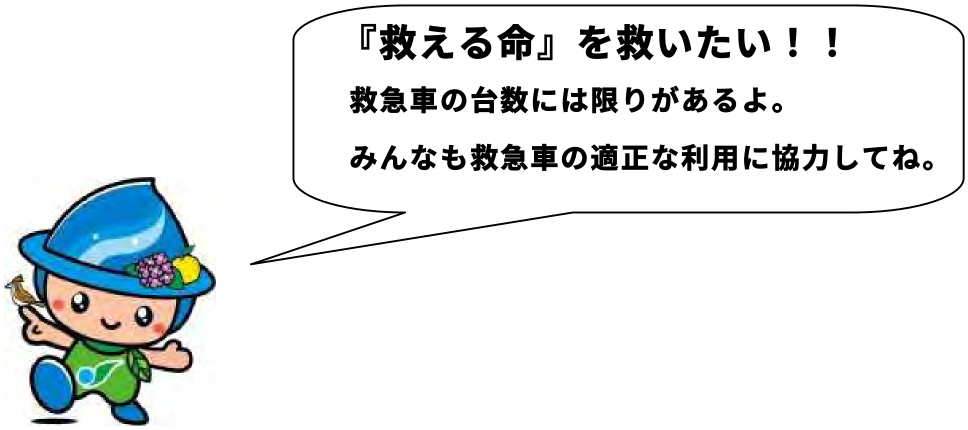
平成２７年上半期の救急出場件数は１６，５０７件、搬送人員は１４，７１８人で、前年と比べ救急出場件数は９６件、搬送人員は２５９人減少しています。

救急出場件数は、１日平均約９０件、約１５．９分に１回の割合で救急車が出場したことになります。

救急出場の事故種別順位としては、急病（前年比１３２件増）が最も多く、一般負傷（前年比１３４件減）、転院搬送（前年比６５件増）、交通事故（前年比５２件減）と続いています。

また、救急車で搬送された人の中で約４６．５％（前年比３．４ポイント減）の人は、入院を必要としない軽症者でした。

猛暑日では、熱中症に伴う救急搬送が増加します。熱中症を予防するには、暑さを避け、水分・塩分をこまめに補給することが大切です。皆さんも是非、日頃から自分や家族の体調の変化に気をつけ、熱中症による健康被害を未然に防ぎましょう。



救急業務実施状況（上半期）

（１）救急概要

平成２７年上半期は、救急出場件数１６，５０７件、搬送人員１４，７１８人で前年同時期に比べ出場件数は９６件、搬送人員は２５９人減少しました。

このことは、市内で１日平均約９０件、約１５．９分に１回の割合で救急隊が出場したことになります。

(平成２７年４月１日現在の人口:７２２，５３４人)

救 急 活 動 状 況

事故種別区分			平成２７年（A）	平成２６年（B）	増減(C)(A-B)	増減率(%)(C/B×100)
救急出場件数			16,507	16,603	△ 96	△ 0.6%
傷病者搬送件数			14,568	14,841	△ 273	△ 1.8%
不搬送件数			1,939	1,762	177	10.0%
事故種別内訳	火災		57	84	△ 27	△ 32.1%
	自然災害		0	0	0	0.0%
	水難		4	3	1	33.3%
	交通		1,325	1,377	△ 52	△ 3.8%
	労働災害		122	149	△ 27	△ 18.1%
	運動競技		102	110	△ 8	△ 7.3%
	一般負傷		2,066	2,200	△ 134	△ 6.1%
	加害		99	106	△ 7	△ 6.6%
	自損行為		163	158	5	3.2%
	急病		10,434	10,302	132	1.3%
	その他	転院搬送	1,555	1,490	65	4.4%
		医師搬送	1	7	△ 6	△ 85.7%
		資材搬送	2	5	△ 3	△ 60.0%
		その他	577	612	△ 35	△ 5.7%
搬送人員			14,718	14,977	△ 259	△ 1.7%
性別	男性		7,855	8,032	△ 177	△ 2.2%
	女性		6,863	6,945	△ 82	△ 1.2%
程度別	死亡		257(1.7%)	242(1.6%)	15	6.2%
	重症		1,193(8.1%)	1,198(8.0%)	△ 5	△ 0.4%
	中等症		6,429(43.7%)	6,056(40.4%)	373	6.2%
	軽症		6,839(46.5%)	7,480(49.9%)	△ 641	△ 8.6%
	その他		0(0.0%)	1(0.0%)	△ 1	△ 100.0%

＊小数点第２位を四捨五入

（２）搬送人員

平成２７年上半期の搬送人員１４，７１８人のうち、急病が９，３９８人と最も多く、以下一般負傷が１，９０８人、転院搬送が１，５５５人と続いています。

搬送人員を前年と比較すると全体として１．７％の減少となっています。

事故種別 順位		平成２７年		平成２６年		対前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	9,398	63.9%	9,462	63.2%	△ 64	△ 0.7%
2	一般負傷	1,908	13.0%	2,050	13.7%	△ 142	△ 6.9%
3	転院搬送	1,555	10.6%	1,492	10.0%	63	4.2%
4	交通事故	1,341	9.1%	1,391	9.3%	△ 50	△ 3.6%
5	労働災害	121	0.8%	147	1.0%	△ 26	△ 17.7%
6	自損行為	115	0.8%	112	0.7%	3	2.7%
7	運動競技	99	0.7%	111	0.7%	△ 12	△ 10.8%
8	その他	89	0.6%	98	0.7%	△ 9	△ 9.2%
9	加害	77	0.5%	91	0.6%	△ 14	△ 15.4%
10	火災	14	0.1%	21	0.1%	△ 7	△ 33.3%
11	水難	1	0.0%	2	0.0%	△ 1	△ 50.0%
12	自然災害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		14,718	100%	14,977	100%	△ 259	△ 1.7%

＊小数点第２位を四捨五入